

ります。

次に、128ページをお開き願います。11款の災害復旧費につきましては、平成19年6月29日から30日にかけて発生しました集中豪雨の災害復旧に関する支出でございます。支出済額は1,776万9,120円で、予算執行率は97.7%となりました。歳出総額に占める構成比率は0.2%であります。

1 項公共土木施設災害復旧費の支出済額は283万1,648円で、予算執行率は99.9%であります。

2 項の農林水産業施設災害復旧費の支出済額は1,493万7,472円で、予算執行率は97.3%であります。

1 目農地農業用施設災害復旧費では1,460万1,472円を、2 目林業施設災害復旧費では33万6,000円を支出しております。

次に、次のページ、12款公債費の支出済額は17億1,339万8,367円で、予算執行率は99.9%となりました。歳出総額に占める構成比率は16.1%であり、前年度対比では1億6,300万9,900円、10.5%の増となっております。

次に、130ページ、13款諸支出金の支出済額は1億4,148万687円で土地開発公社より清水保育園用地を取得しております。

最後に、131ページの14款予備費でございますが、予算から15万9,705円を充用し、不用額は184万295円となりました。

以上から、歳出合計は106億4,488万3,170円で、全体の予算執行率は97.8%となりました。前年度対比の伸び率は1.0%、金額では1億146万7,371円増加しております。歳入合計から歳出合計を差し引いた2億3,842万3,490円が残額となりました。また、実質収支額は翌年度に繰り越すべき財源の562万2,000円を差し引いた2億3,280万1,490円となって、決算を終了したところでございます。なお、単年度収支額は7,453万2,766円の黒字となっております。

以上が平成19年度一般会計歳入歳出決算の計数等の概要でございますが、細部につきましては、ご質問により担当課長等からご説明申し上げますので、よろしくご審査くださいますようお願い申し上げます。

○高橋孝夫委員長 次に、認第1号の平成19年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算及び平成19年度長井市老人保健医療費給付事業特別会計歳入歳出決算の2件について。

浅野敏明市民課長。

○浅野敏明市民課長 おはようございます。

それでは平成19年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

7ページをお開き願います。歳入につきましては、収入済額合計が28億2,495万9,981円で、前年度と比較しまして1億9,861万2,908円、7.6%の増となっております。調定額に対しましては92%となっております。

次ページをお開き願います。支出済額合計26億6,666万6,172円で、前年度と比較しまして2億1,438万1,726円、8.7%の増となっております。予算現額に対する執行率は86.9%となっております。歳入歳出差し引き額1億5,829万3,809円は、翌年度に繰り越しをさせていただきます。決算といたしたところでございます。

それでは、事項別明細書によりご説明申し上げます。133ページをお開き願います。

歳入でございますが、1 款1 項国民健康保険税は、調定額10億5,956万1,243円に対しまして、収入済額8億1,531万4,685円で、割合は76.9%となっております。また、収入総額の28.9%を占め、前年度と比較しまして1,056万2,345円、1.3%の減となっております。また、不納欠損額は165件、1,359万9,665円、収入未済額は2億3,083万2,693円で、前年度より1,660万9,080円、7.8%増となっております。

1 目一般被保険者国民健康保険税、1 節医療

給付費分現年課税分は5億4,508万9,529円で、
 収納率は90.9%、また2目退職被保険者等国民
 健康保険税、1節医療給付費分現年課税分1億
 7,277万2,445円で、収納率は96.7%となつてお
 ります。

2款使用料及び手数料、次ページをお開き願
 います、1項2目督促手数料は、調定額、収入
 済額とも40万740円で、保険税の督促手数料で
 ございます。

3款国庫支出金は、調定額、収入済額ともに
 6億7,965万3,037円で、収入総額の24.1%とな
 っております。うち1項1目医療給付費等負担
 金は4億9,173万857円で、前年度対比2,803万
 4,002円、6.0%増となっております。

2目高額医療費共同事業負担金は910万1,580
 円で、前年度対比220万805円、31.9%増となつ
 ております。

2項1目財政調整交付金は1億7,533万2,000
 円で、前年度対比1,553万7,000円、9.7%増と
 なっております。これは特別調整交付金で、後
 期高齢者医療電算システム開発経費に係る特別
 交付金1,817万2,000円などによるものでござい
 ます。

2目後期高齢者医療制度創設準備事業補助金
 につきましては348万8,600円でございます。

4款療養給付費交付金は6億2,147万2,000円
 で、歳入総額の22.0%となっております。うち
 1項1目療養給付費交付金は5億4,668万8,389
 円で、前年度対比976万1,574円、1.8%増とな
 っております。これは退職被保険者に係る医療
 費分として社会保険診療報酬支払基金から交付
 を受けたものでございます。

次ページをお開き願います。2目退職被保険
 者に係る交付金は7,478万3,611円で、前年度対
 比1,001万3,702円、15.5%増となっております。
 これは老人保健拠出金相当額として、同じく支
 払基金から交付を受けたものでございます。

5款県支出金、1項1目高額医療費共同事業

負担金は910万1,580円で、国庫負担金と同額で
 ございます。

2項1目財政調整交付金は1億109万7,000円
 で、前年度より108万8,000円増となっております。

6款共同事業交付金、1項1目高額医療費共
 同事業交付金3,438万4,407円は、80万円を超え
 る医療費が対象で、前年度より112万7,364円、
 3.4%増となっております。

2目保険財政共同安定化事業交付金2億
 3,838万5,717円は、30万円から80万円までの医
 療費が対象で、前年度より1億2,077万656円増
 となっております。

次ページをお開き願います。8款繰入金は1
 億2,897万2,019円で、歳入総額の4.6%を占め、
 前年度より748万1,089円、5.5%の減となつて
 おります。

9款繰越金1億7,406万2,627円は、歳入総額
 の6.2%を占め、前年度より2,600万9,400円、
 17.6%増となっております。

10款諸収入、1項1目一般被保険者延滞金
 408万7,529円は、保険税の滞納額で前年度より
 137万3,857円増額となっております。

3項雑入、1目一般被保険者第三者納付金
 1,150万3,680円は、交通事故などで加害者から
 納付される3件分の損害賠償納付金でございま
 す。

5目雑入5,170万140円は、高額療養費貸付金
 の償還金等でございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。
 138ページをお開き願います。

1款総務費、1項1目一般管理費5,537万
 5,577円で、予算現額に対する執行率は88.3%
 となっております。主なものとしまして、13節
 委託料は5,040万4,685円で、国民健康保険電算
 システム改修業務委託料3,594万1,500円、国保
 連合会電算共同処理委託料405万3,307円、電算
 業務委託料415万5,154円、医療費適正化委託料

487万9,224円などがございます。

2目連合会負担金は296万7,100円で、山形県国民健康保険団体連合会の負担金でございます。

2項1目賦課徴収費は739万1,860円で、主なものとしまして、13節委託料526万8,000円、国税賦課徴収に係る電算業務委託料でございます。

3項運営協議会費は50万8,040円で、国民健康保険運営協議会に係る諸経費等でございます。

4項趣旨普及費41万8,950円は、パンフレットなどの普及啓蒙に係る印刷製本費でございます。

5項収納率向上特別対策事業費は245万9,462円で、次ページになりますが、嘱託徴収員の人件費などがございます。

2款保険給付費18億15万5,892円で、歳出総額の67.5%を占め、前年度と比較しまして6,964万240円、4.0%増となっております。

1項医療諸費は16億2,300万9,778円で、前年度対比6,851万5,980円、4.4%増となっております。

2項高額療養費は1億5,040万6,114円で、前年度対比217万4,259円、1.5%増となっております。

次ページをお開き願います。4項出産育児諸費は945万円で、27件の出産育児一時金支給費でございます。

5項葬祭諸費は1,729万円で、247件の葬祭費の支給費でございます。

3款1項老人保健医療費拠出金は3億5,190万1,806円で、前年度と比較しまして1,181万4,066円、3.4%増となっております。

次ページをお願いします。4款1項介護納付金は1億5,033万6,530円で、前年度と比較しまして815万1,703円、5.1%減となっております。

5款1項共同事業拠出金は2億5,889万2,914円で、前年度より1億2,626万6,626円増となっております。うち80万円を超える医療費が対象

の1目高額医療費拠出金は3,636万6,247円で、前年度より963万7,028円増、また平成18年度から制度化となりました30万円から80万円未満の医療費を共同事業化した2目保険財政共同安定化事業は2億2,252万5,197円で、前年度より1億1,662万8,842円増となっております。

6款1項1目保健衛生普及費は827万464円で、主なものとしまして8節報償費222万1,170円。これは生きがい講座事業など、健康課、文化生涯学習課と連携を図りまして、健康づくり、体力づくり、生きがいづくりに取り組んだものでございます。

次ページになりますが、13節委託料は、健康診断委託料などで135万2,699円、また19節負担金補助及び交付金193万8,000円は、一日人間ドックの一部負担金助成金でございます。

9款1項、次ページをお開き願います、3目償還金は2,086万2,006円で、平成18年度国庫支出金の精算による償還金でございます。

2項1目高額療養費及び出産費貸付金は394万3,000円で、38件の高額療養費貸付金でございます。

以上が平成19年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の概要であります。

次に、戻りまして13ページをお開き願います。平成19年度長井市老人保健医療費給付事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

歳入につきましては、調定額、収入済額合計27億2,329万3,242円で、前年度と比較しまして8,074万4,015円、2.9%減となっております。

次ページをお開き願います。歳出につきましては、支出済額合計27億2,451万9,748円で、前年度と比較しまして8,616万5,450円、3.1%減となっております。予算現額に対する執行率は96.9%となっております。

歳入歳出差し引きでは、歳入不足額122万6,506円が生じておりますが、平成20年度歳入

により繰り上げ充用することにして、平成19年度の医療費が確定する平成20年5月末日に専決処分を行いまして、6月定例会におきまして報告をいたしたところでございます。

それでは、事項別明細書でご説明申し上げます。155ページをお開き願います。

歳入でございますが、1款1項支払基金交付金は、調定額、収入済額とも14億162万2,000円で、歳入総額の51.5%となっております。うち1目医療費交付金は13億3,803万8,000円で、前年度対比1億3,382万8,740円、8.8%減となっております。

2目審査支払手数料交付金は1,358万4,000円で、診療報酬明細書点検などに要する費用に対して交付を受けたものでございます。

2款国庫支出金は、調定額、収入済額ともに8億8,383万5,970円で、歳入総額の32.5%を占め、前年度と比較しまして4,319万9,845円、5.1%増となっております。

3款県支出金は、調定額、収入済額ともに2億1,475万8,106円で、歳入総額の7.9%を占め、前年度と比較しまして565万9,549円、2.7%増となっております。

4款繰入金は2億2,213万1,915円で、歳入総額の8.2%を占め、前年度と比較しまして624万2,853円、2.9%増となっております。

次ページになりますが、6款諸収入、3項1目第三者納付金は94万5,251円で、交通事故等で加害者から納付される1件分の損害賠償納付金でございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。157ページをごらんいただきたいと思っております。

1款総務費、1項1目一般管理費717万1,701円で、予算現額に対する執行率は84.7%となっております。主なものとして、13節委託料は671万5,091円で、国保連合会電算共同処理事業委託料364万8,729円、保険者別医療費通知委託料119万9,650円、縦覧点検委託料102万2,112

円などの委託料でございます。

2款医療諸費は26億9,262万7,501円で、歳出総額の98.8%を占め、前年度と比較しまして6,610万4,376円、2.4%減となっております。うち1項1目医療給付費が26億4,336万8,595円で、医療機関などに診療報酬として支出したものでございます。

2目医療支給費は3,599万6,554円で、接骨院などの手術料や高額医療分の現金支給費でございます。

3目審査支払手数料は1,326万2,352円で、診療報酬明細書点検に要する費用を国民健康保険連合会などに支出したものでございます。

3款1項、次ページをお開き願います、1目償還金は1,807万2,605円で、平成18年度精算に伴い、支払基金へ償還をするものでございます。

4款前年度繰上充用金は664万7,941円で、平成18年度において歳入不足が生じたため、19年度会計より支出したものでございます。

以上が平成19年度長井市老人保健医療費給付事業歳入歳出決算の概要であります。よろしくご承認賜りますようお願い申し上げます。

○高橋孝夫委員長 次に、認第1号の平成19年度長井市物品調達特別会計歳入歳出決算及び平成19年度長井市用地特別会計歳入歳出決算の2件について。

平 英一財政課長。

○平 英一財政課長 平成19年度長井市物品調達特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の9ページをお開きください。歳入の収入済額は予算現額と比較いたしまして507万117円減の5,306万7,883円で、前年度対比682万6,065円、14.8%の増となっております。

10ページをお開き願います。次に歳出でございますが、支出済額は予算現額と比較いたしまして507万117円減の5,306万7,883円で、前年度対比770万6,740円、17.0%の増となっております。

す。

歳入歳出同額で決算を終了いたしまして、物品調達特別会計は平成19年度をもって廃止したものでございます。

以下、詳細につきまして事項別明細書によりご説明いたしますので、145ページをお開きください。

歳入1款1項用品収入につきましては、一般会計及び他の特別会計からの繰入金でございまして、前年度対比663万4,939円、14.6%増の5,210万5,696円となっております。

2款1項繰越金は、前年度からの繰越金でございまして、前年度対比18万8,380円、27.2%増の88万675円となっております。

3款1項諸収入は、複写機使用料として収入したものでございまして、前年度対比2,746円、3.5%増の8万1,512円となっております。

146ページをお開き願います。次に、歳出についてご説明いたします。

1款1項物品調達費は、暖房及び公用車などの燃料並びに共用複写機の使用料及び使用料でございまして、前年度対比692万6,740円、15.6%増の5,128万7,883円となっております。

2款1項繰出金は、前年度対比78万円、78%増の178万円となりました。この繰出金は用品収入として一般会計及び他の特別会計から繰り入れた金額から、物品調達に要した経費を控除した後の金額の全部を一般会計に繰り出して、物品調達特別会計を終了したところでございまして、

続きまして、平成19年度長井市用地特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

戻りますが、決算書の25ページをお開きください。歳入の収入済額は予算現額と比較いたしまして800円減の421万1,200円で、前年度対比67万4,946円、19.1%の増となっております。

26ページをお開き願います。次に、歳出でござ

いありますが、支出済額は予算現額と比較いたしまして800円減の421万1,200円で、歳入歳出同額となっております。

以下、事項別明細書によりご説明申し上げますので、185ページをお開き願います。

歳入1款1項一般会計繰入金は、平成17年度に運動公園整備事業用地取得の財源として借り入れた土地開発公社運営健全化対策債3億80万円の償還金利子の財源として一般会計から繰り入れたものでございまして、421万1,200円となっております。

186ページをお開き願います。歳出でございありますが、1款1項公債費につきましては、ただいま申し上げました土地開発公社健全化対策債3億80万円の19年度分償還金利子でございまして、421万1,200円となっております。

以上が財政課所管の特別会計の決算の概要でございます。よろしくご承認賜りますようお願いいたします。

○高橋孝夫委員長 次に、認第1号の平成19年度長井市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算及び平成19年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算並びに平成19年度長井市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の3件について。

鈴木一則建設課長。

○鈴木一則建設課長 おはようございます。

平成19年度長井市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

恐れ入りますが、決算書の11ページをお開きください。まず歳入でございありますが、収入済額合計が23億664万5,794円で、前年度と比較いたしまして1億7,875万2,256円、8.4%の増となっております。調定額に対しまして99.4%となっております。

12ページをお開きください。歳出でございありますが、支出済額合計23億599万9,929円で、前年度と比較いたしまして長期債の繰上償還のための公債費の増加により、1億7,863万6,212円、

8.4%の増となっております。予算現額に対する執行率は99.9%となっております。

歳入歳出差し引き額64万5,865円は翌年度に繰り越しをさせていただきまして、決算としたところでございます。

それでは、事項別明細書によりましてご説明申し上げます。恐れ入りますが147ページをお開き願います。

歳入でございます。1款分担金及び負担金、1項1目下水道受益者負担金、収入済額は3,179万8,550円で、歳入総額の1.4%となっております。うち1節現年度分は3,150万700円で収納率97.6%、2節滞納繰越分29万7,850円で収納率は7.7%となっております。

2款使用料及び手数料、1項1目下水道使用料につきましては、収入済額2億8,544万9,612円で、歳入総額の12.4%となっております。うち1節現年度分は2億8,093万8,933円で収納率98.7%、2節滞納繰越分451万679円で収納率42.5%となっております。また、不納欠損額は49件で102万9,876円が生じております。これは転出後、行方不明などにより時効となったものなど収入不可能と判断いたしまして、不納欠損処分とさせていただいたものでございます。

2目下水路使用料の収入済額は38万7,305円で、収納率89.0%であります。

3款国庫支出金、1項1目下水道事業費国庫補助金は2億5,755万円で、収入総額の11.2%となっております。

4款繰入金、次ページをお開きください、1項1目一般会計繰入金は5億6,230万円で、歳入総額の24.4%となっております。

5款繰越金、1項1目繰越金は52万9,821円で、前年度の繰越金であります。

6款諸収入、1項1目延滞金は5,400円あります。

3項1目雑入は1,085万8,726円で、消費税還付金及び下水道管理センター改築工事による撤

去品売買収入でございます。

7款市債、1項1目下水道事業債につきましては11億5,775万円で、歳入総額の50.2%でございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。150ページをお開きください。

1款公共下水道事業費、1項公共下水道事業費につきましては、支出済額7億2,062万9,784円で、予算現額に対する執行率は99.6%となっております。うち1目公共下水道総務費6,496万750円で、主なものといたしまして、2節から4節まで職員4名分の人件費、13節委託料は1,466万8,536円で、下水道使用料徴収事務委託料800万1,000円、電算処理業務委託料666万7,536円であります。19節負担金補助及び交付金は241万1,720円で、主なものといたしまして、排水設備設置改造資金利子補給金、123件で27万2,859円、その他関係諸団体負担金などでございます。

2目公共下水道事業費は5億7,876万496円で、主なものといたしまして、2節から4節まで職員3名分の人件費。151ページをごらんください。13節委託料は2億1,129万円で、公共下水道管理センター改築更新工事委託料2億100万円、実施設計業務委託料2件で7,875万円、下水道台帳整備業務委託料241万5,000円でございます。15節工事請負費につきましては3億2,321万1,000円で、汚水管路布設工事など、18件の工事請負費でございます。

詳細につきましては備考欄をごらんいただきたいと思っております。

152ページをお開きください。22節補償補填及び賠償金は1,105万4,400円で下水道工事に伴う上水道移転補償費などがございます。

3目管渠管理費は710万4,559円で、主なものといたしまして、15節工事請負費561万3,300円、マンホール補修工事、下水道取り付け管補修工事など、13件の工事請負費でございます。

詳細につきましては備考欄のとおりでございます。

4目管理センター費は7,280万4,654円で、主なものといたしましては、11節需用費2,047万6,383円で、うち消耗品費355万9,673円であります。これは処理場において汚泥を重力濃縮させるための凝集剤や脱水ケーキを最終処分場へ運搬する際の消臭剤などでございます。光熱水費1,299万8,094円は、管理センターの電気水道料などでございます。13節委託料5,192万7,579円で、主なものといたしまして、管理運営業務委託料3,263万4,000円、脱水ケーキ処分委託料1,713万7,215円、その他管理センターの管理及び設備機械等の清掃点検等の委託料でございます。

2款1項公債費につきましては15億8,537万145円で、高利率の長期債繰上償還のため、前年度と比較いたしまして3億6,100万6,782円、29.5%の増となっております。1目の元金につきましては12億4,461万9,631円で、長期債償還元金でございます。

2目利子につきましては3億4,075万514円で、長期債償還利子などがございます。

以上が平成19年度長井市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。

続きまして、平成19年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の概要につきましてご説明を申し上げます。

恐れ入りますが、戻りまして17ページをお開きください。歳入でございますが、収入済額合計が1億9,250万1,341円で、前年度と比較いたしまして2,533万7,708円、15.2%の増となっております。調定額に対しまして99.1%となっております。

18ページをお開きください。歳出でございますが、支出済額合計1億9,165万5,303円で、前年度と比較いたしまして2,538万8,665円、15.3%の増となっております。予算現額に対す

る執行率は99.7%となっております。

歳入歳出差し引き額84万6,038円は、翌年度に繰り越しをさせていただきまして、決算としたところでございます。

それでは、事項別明細書により説明を申し上げます。161ページをお開き願います。

歳入でございますが、1款分担金及び負担金、1項1目農業集落排水事業分担金は、収入済額126万円です。

2款使用料及び手数料、1項1目施設使用料につきましては、収入済額5,269万546円で、収納率97.1%となったところでございます。うち1節施設使用料5,414万2,602円で、収納率99.1%となっております。これは今泉及び大久保地区処理施設使用料でございます。2節滞納繰越金は54万7,944円で、収納率37.9%となっております。また、不納欠損額14件で25万73円が生じております。これは転出後、行方不明などにより時効となったものなど、収入不可能と判断いたしまして、不納欠損処分とさせていただいたものでございます。

3款繰入金、1項1目一般会計繰入金は7,620万円で、歳入総額の39.6%となっております。

4款繰越金につきましては89万6,995円で、前年度の繰越金でございます。

162ページをお開きください。6款市債、1項1目下水道事業債につきましては5,940万円で、歳入総額の30.9%でございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。163ページをお開きください。

1款1項農業集落排水事業費につきましては、支出済額3,986万6,474円で、予算現額に対する執行率は98.7%となっております。うち1目農業集落排水事業総務費1,353万4,422円で、主なものといたしまして、2節から4節まで職員1名分の人件費、27節公課費は291万1,300円で、消費税納付額でございます。

+

2目今泉排水施設運営費につきましては1,869万3,791円で、主なものといたしましては、11節需用費598万6,598円で、処理施設の光熱水費などがございます。また、13節委託料1,183万5,832円で、処理施設の維持管理委託料などがございます。

164ページをお開きください。3目大久保排水施設運営費につきましては763万8,261円で、主なものといたしましては、11節需用費183万1,539円で、処理施設の光熱水費などがございます。また、13節委託料は475万4,993円で、処理施設の維持管理委託料などがございます。

2款1項公債費につきましては1億5,178万8,829円で、高利率の長期債繰上償還のため、前年度と比較いたしまして3,048万9,319円で、25.1%の増となっております。

1目の元金につきましては1億669万4,359円で、長期債償還元金及び繰上償還元金でございます。

2目利子につきましては4,509万4,470円で、長期債償還利子などがございます。

以上が平成19年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。

続きまして、平成19年度長井市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

恐れ入りますが、戻りましてまた23ページをお開きください。

歳入でございますが、収入済額合計が9,552万3,901円で、設置基数の減によりまして、前年度と比較いたしまして559万3,650円、5.5%の減でございます。調定額に対しまして99.9%となっております。

次のページをお開き願います。歳出でございますが、支出済額合計9,501万6,760円で、前年度と比較して560万330円、5.6%の減でございます。予算現額に対する執行率は99.1%となっております。

歳入歳出差し引き額50万7,141円は翌年度に繰り越しをさせていただきます、決算としたところでございます。

それでは、事項別明細書によりましてご説明を申し上げます。181ページをお開き願います。

歳入でございますが、1款分担金及び負担金、1項1目浄化槽事業分担金は、1節現年度分1,026万8,500円で、収納率は100%となっております。2款使用料及び手数料、1項1目浄化槽使用料につきましては、収入済額854万80円で、収納率は99.3%となっております。

3款国庫支出金、1項1目特定地域生活排水処理事業国庫補助金は2,047万2,000円で、歳入総額の21.4%となっております。

4款繰入金、1項1目一般会計繰入金は564万円で、歳入総額の5.9%となっております。

182ページをお開きください。5款繰越金につきましては50万461円で、前年度の繰越金でございます。

7款市債、1項1目下水道事業債は5,010万円で、歳入総額の52.4%でございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。183ページをごらんください。

1款1項浄化槽事業費につきましては、支出済額9,329万7,062円で、予算現額に対する執行率は99.1%となっております。うち1目浄化槽事業総務費につきましては567万5,364円で、主なものといたしまして、13節、510万7,200円、浄化槽保守点検清掃委託料でございます。

2目浄化槽事業費8,762万1,698円で、主なものといたしまして、2節から4節まで職員2名分の人件費、15節工事請負費6,861万2,250円で、浄化槽設置工事22工区分、5人槽46基、7人槽17基、計63基設置の工事請負費でございます。

2款1項公債費につきましては171万9,698円で長期債償還の利子でございます。

以上が平成19年度長井市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご

認定賜りますようお願い申し上げます。

○高橋孝夫委員長 次に、認第1号の平成19年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算について。

遠藤健司企画調整課長。

○遠藤健司企画調整課長 それでは、平成19年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の15ページをお開きください。まず歳入合計でございますが、収入済額は予算現額と比較いたしまして621万6,952円減の1億1,888万8,048円で、前年度対比で417万8,224円、3.6%の増となっております。

次のページをお開きください。次に歳出合計でございますが、支出済額は予算現額と比較いたしまして621万6,952円減の1億1,888万8,048円で、前年度対比417万8,224円の3.6%の増となっております。なお、歳入歳出同額でございます。

次に、事項別明細書によりご説明申し上げます。159ページをお開きください。

歳入でございますが、1款分担金及び負担金、1項1目山形鉄道運営助成費負担金につきましては、収入済額3,665万円で、歳入総額の31.8%を占めており、県及び沿線自治体の財政支援に基づくものでございます。

2款財産収入、1項1目利子及び配当金につきましては、収入済額8万8,048円で、基金運用による利子でございます。

3款繰入金につきましては、収入済額7,215万円で、歳入総額の60.7%を占めております。1項1目一般会計繰入金1,335万円は、長井市の山形鉄道運営助成費負担分を一般会計から繰り入れしたものでございます。

2項1目基金繰入金5,880万円は、山形鉄道運営助成費相当額を基金より繰り入れたものでございます。

4款諸収入、1項1目貸付金元利収入につきましては、収入済額1,000万円で、歳入総額の

8.4%を占めており、山形鉄道株式会社への貸付金の返済金でございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。次ページ、160ページをお開きください。

1款山形鉄道助成費、1項1目運営助成費につきましては、支出済額5,880万円で、歳出総額の49.5%を占めており、山形県及びフラワー長井線沿線の自治体の財政支援の方針に基づき助成したものでございます。

2款基金積立金につきましては、支出済額5,008万8,048円で、歳出総額の42.1%を占めており、自治体よりの負担金3,665万円、長井市一般会計よりの繰入金1,335万円、基金の運用利子8万8,048円を積み立てたものでございます。

3款基金繰出金につきましては、支出済額1,000万円で、歳出総額の8.4%を占めており、山形鉄道株式会社よりの返済金を基金に戻したものでございます。

以上が平成19年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。以上でございます。

○高橋孝夫委員長 次に、認第1号の平成19年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算について。

中井 晃健康課長。

○中井 晃健康課長 それでは、平成19年度長井市訪問看護事業特別会計決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の19ページをお開き願います。初めに、歳入でございますが、収入済み合計額は1,798万6,238円でございます。収入の内訳といたしましては、療養費交付金、利用料、繰越金、雑入、一般会計繰入金でございます。

20ページをお開き願います。歳出といたしましては、事業費としての支出が1,786万1,664円でございます。

歳入歳出の差し引き額12万4,574円を翌年度に繰り越しさせていただきました。

次に、事項別明細によりご説明申し上げます。165ページをお開き願います。

歳入でございますが、1款1項療養費交付金、1目訪問看護費交付金は、収入済額1,247万3,114円でございます。18年度と比較いたしまして413万4,585円、24.9%の減となりました。内訳といたしましては、介護分が1,011万8,974円、医療分が235万4,140円でございます。これは訪問の延べ回数が18年度より538回減少したことによるもので、利用者も減少しておりますけれども、臨時の看護師の確保が今非常に厳しい状況でございますので、利用者1人当たりの訪問回数が減少したことが主な理由によるものでございました。

2款1項1目利用料は119万4,506円でございます。内訳は介護保険の利用者の1割負担分と保険外の交通費分でございます。交付金と同様に、利用者の減少に伴いまして、18年度比で46万3,953円、27%の減でございます。

4款諸収入、1項1目雑入は2万8,614円でございます。国保協力金と物損事故の際の自動車損害共済金でございます。

5款繰入金、1項1目一般会計繰入金は、419万4円で、18年度より155万9,607円の増加でございます。

次に、歳出につきましてご説明申し上げます。166ページをお開き願います。

1款1項事業費、1目訪問看護事業費1,786万1,664円の内訳は、2節、3節、4節につきましては職員2名分の給与等に係る費用でございます。7節の賃金332万7,300円につきましては、定時補助職員及びパートの看護師4名の雇い上げ賃金でございます。11節需用費22万3,997円は、車の修繕費、医療材料費、消耗品でございます。

12節役務費35万4,285円は、電話料、訪問看

護サービス情報公表手数料、看護時の衣服のクリーニング手数料等でございます。13節委託料5万4,000円並びに14節の使用料及び賃借料の28万2,240円は、請求事務、患者情報等に利用しております訪問看護支援ソフトのリース料及びシステムの保守管理の費用でございます。19節負担金補助金及び交付金1万3,000円は、山形県内の訪問看護ステーションで組織しております訪問看護ステーション連絡協議会の年会費等でございます。28節繰出金につきましては、物調会計への繰り出しをさせていただいたものでございます。

以上、平成19年度長井市訪問看護事業特別会計決算の概要につきましてご説明を申し上げます。よろしくご審査の上、認定賜りますようお願いを申し上げます。

○高橋孝夫委員長 次に、認第1号の平成19年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算について。船山祐子福祉事務所長。

○船山祐子福祉事務所長 平成19年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の21ページをお開きください。歳入合計は、前年度比3.2%増の24億2,419万8,301円で、調定額に対する収入率は99.4%となっております。

次に、22ページをお開きください。歳出合計でございますが、前年度比5.2%増の23億7,574万2,868円でございます。

歳入歳出差し引き残額4,845万5,433円は、平成20年度に繰り越しをいたすものでございます。

以下、事項別明細書によりご説明申し上げますので、167ページ、介護歳入1をお開きください。

初めに、歳入でございますが、1款介護保険料は、調定額4億5,705万8,760円、収入済額4億4,263万3,241円で、調定額に対する収納率は96.8%で、歳入総額の18.3%を占めております。

税制改正に伴う激変緩和措置による段階的な引き上げなどの影響によりまして、前年度比3.4%の伸びとなっております。

2款使用料及び手数料は4万8,560円で、介護保険料の督促手数料でございます。

3款国庫支出金は5億5,291万5,564円で、歳入総額の22.8%を占めております。

1項国庫負担金は3億9,008万884円で、保険給付費に対する国の法定負担分でございます。

2項国庫補助金は1億6,283万4,680円で、高齢者の割合などに応じて交付を受けた調整交付金と地域支援事業交付金及び介護保険制度の一部改正に伴うシステム修正費用に対する介護保険事業費補助金でございます。

次のページをお開きください。4款支払基金交付金は6億8,213万17円で、歳入総額の28.1%を占めており、保険給付費及び地域支援事業費に対する2号被保険者の法定負担分として、社会保険診療報酬支払基金から交付を受けたものでございます。

5款県支出金は3億3,850万1,438円で、歳入総額の14%を占めており、1項県負担金は3億2,954万2,397円で、保険給付費に対する県の法定負担分でございます。

2項県補助金は895万9,041円で、地域支援事業費に対する県の法定負担分として交付を受けたものでございます。

6款財産収入は23万4,980円で、介護給付費準備基金積立金に対する利子収入でございます。

7款繰入金金は3億1,622万9,645円で、歳入総額の13%を占めております。

1項1目介護給付費繰入金2億7,290万7,774円は、保険給付費に対する市の法定負担分として、2目地域支援事業繰入金895万9,041円は、地域支援事業費に対する法定負担分としております。

3目その他一般会計繰入金3,436万2,830円は、総務管理費、賦課徴収費などの事務経費として

繰り入れしていただいたものでございます。

8款諸収入は120万7,175円でございます。

1項延滞金、加算金及び過料は9万3,400円で、1号被保険者の介護保険料の延滞金でございます。

2項雑入は111万3,775円で、地域支援事業の配食サービス等の利用者負担金でございます。

次のページをお開きください。9款繰入金金は9,029万7,681円で、平成18年度会計から繰り越したものでございます。

次に、歳出についてご説明申し上げますので、次のページ、介護歳出1をごらんください。

1款総務費は3,436万2,830円で、後期高齢者医療制度システム構築に伴うシステム修正費用の発生などにより、前年度と比較いたしまして9.7%の増でございます。

1項総務管理費は1,675万185円で、介護保険の電算業務などの一般事務経費でございます。

2項徴収費は34万8,669円で、保険料の賦課徴収費でございます。

3項介護認定審査会費は1,717万6,976円で、要介護認定審査会時の報酬、認定調査、主治医意見書作成などの事務経費でございます。

次のページをお開きください。4項趣旨普及費は1万円。

5項地域ケア包括会議費は7万7,000円で、地域密着型サービス事業者の指定、あるいは介護保険事業計画等についてご審議していただいたものでございます。

2款保険給付費は21億8,326万2,196円で、歳出総額の91.9%を占めており、地域密着型介護サービスの整備等に伴い、3.4%の増となっております。

1項介護サービス等諸費は19億1,589万7,118円で、要介護認定受給者の保険給付費でございます。

1目居宅介護サービス給付費は7億2,079万4,093円で、保険給付費の33%を占め、主に訪

問介護、デイサービス、デイケア、ショートステイなどのサービスに対する保険給付費でございます。

2目特例居宅介護サービス給付費は112万9,653円で、基準該当サービスなどの給付費でございます。

3目地域密着型介護サービス給付費は1億4,220万4,320円で、保険給付費の6.5%を占め、グループホームや小規模多機能型居宅介護サービス費の給付費でございます。

5目施設介護サービス給付費は9億7,261万1,826円で、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設の施設入所サービスに対する保険給付費でございます。

7目居宅介護福祉用具購入費は178万7,554円、8目居宅介護住宅改修費は487万9,919円、9目居宅介護サービス計画給付費は7,248万9,753円でございます。

2項介護予防サービス等諸費は1億5,743万4,474円で、要支援認定受給者の保険給付費でございます。要介護、要支援認定区分の見直しによりまして、要支援者が大幅にふえたことから、77.4%の増でございます。

次のページをお開きください。3項その他諸費294万7,020円は、現物給付に係る支払審査手数料でございます。

4項高額介護サービス等費は2,858万7,560円で、3,078件支給しております。

5項特別短期入所サービス費はゼロ円でございます。

6項特定入所者介護サービス等費は7,839万6,024円で、施設サービス利用時の居住費、初期負担の低所得者の軽減分を補てんするための給付費でございます。

3款財政安定化基金拠出金は125万7,208円で山形県介護保険財政安定化基金へ拠出したものでございます。

4款地域支援事業費は5,561万2,734円で、介

護予防の推進や地域における包括的、継続的なマネジメント機能を強化するための事業でございます。

1項介護予防費は2,796万1,129円で、次のページをお開きください。足腰若がえり教室などの特定高齢者あるいはふれあいサロンやミニデイサービス事業などの一般高齢者を対象とした介護予防事業等でございます。

介護歳出7をごらんください。2項包括的支援事業・任意事業は2,765万1,605円で、介護状態にならないようにするための予防プランの作成、権利擁護を始めとする総合相談や、次のページをお開きください、任意事業としての家族介護者交流激励事業など、長井市独自の生活支援事業でございます。

5款基金積立金は、介護給付費準備基金に5,268万8,000円を積み立てたものでございます。

6款諸支出金は4,855万9,900円で、保険料の過年度還付金及び介護給付費負担金の精算による返還金でございます。

以上、決算の概要についてご説明申し上げます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○高橋孝夫委員長　ここで昼食のため暫時休憩いたします。再開は午後1時といたします。

午後 0時00分 休憩

午後 1時00分 再開

○高橋孝夫委員長　休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

認第2号 平成19年度長井市水道事業会計決算認定について

○高橋孝夫委員長 次に、認第2号 平成19年度長井市水道事業会計決算認定についての1件について。

渡部政明水道事業所長。

○渡部政明水道事業所長 それでは、認第2号 平成19年度長井市水道事業会計決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書211ページ、水道1ページをお開きください。以降、ページ数につきましては、左下の水道ページで申し上げます。

決算報告書でございますが、これは予算額に対する決算額の対比を消費税込みで記載しております。

初めに、収益的収入及び支出でございますが、収入の第1款水道事業収益は、予算額6億7,347万6,000円に對しまして、決算額6億7,786万6,283円で、439万283円の増となっております。

一方、支出の第1款水道事業費用は、予算額6億5,262万3,000円に對しまして、決算額6億4,530万6,484円で、731万6,516円の不用額となりました。

次に、2ページをお願いいたします。資本的収入及び支出につきましては、収入の第1款資本的収入は、予算額4億2,504万3,000円に對し、決算額4億2,214万50円で、290万2,950円の減となりました。

水道3ページをお願いいたします。支出でございますが、第1款資本的支出は、予算額8億2,785万5,000円に對し、決算額8億1,246万4,528円で、不用額は1,539万472円でございます。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額3億9,032万4,478円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,863万1,936円並びに過年度分損益勘定留保資金2億4,269万2,542円、利益剰余金1億2,900万円で補てんさ

せていただいたものでございます。

次に、水道4ページをお開き願います。損益計算書により経営状況についてご説明申し上げます。税抜きで表示しております。なお、詳細につきましては後ほど収益費用明細書にてご説明申し上げます。

初めに、営業収益でございますが、6億4,236万9,381円で、他会計繰入金が増しましたが、給水収益加入金、受託工事収益、その他営業収益がそれぞれ減収し、前年度対比2,396万2,911円、3.6%の減となりました。営業費用につきましては4億8,619万5,429円で、減価償却費、資産減耗費が増加したものの、浄水及び配給水費、受託工事費、業務及び総係費の減により、全体で前年度と比べ1,646万5,669円、3.3%の減となりました。営業収益から営業費用を差し引いた営業利益は1億5,617万3,952円で、前年度対比749万7,242円、4.6%の減でございます。

次に、営業外収益でございますが、392万3,750円で、前年度対比284万3,399円の増であります。預金利息の増によるものです。営業外費用につきましては1億4,379万8,947円で、前年度対比94万8,813円、0.7%の減でございます。営業、営業外合わせた経常利益から経常費用を差し引いた経常利益は1,629万8,755円で、前年度対比370万5,030円、18.5%の減となりました。なお、経常収支比率は102.2%で、前年度より0.5%下回りました。

次に、特別利益はありませんでした。特別損失は255万9,697円でございます。特別利益、特別損失を含めた当年度純利益は1,373万9,058円となり、前年度に比べ348万9,875円、20.3%の減となりましたが、黒字決算で終了することができました。

また、当年度純利益に前年度繰越利益剰余金を加えた当年度未処分利益剰余金は1,903万4,461円となったところで

+

次に、水道9ページをお願いいたします。ただいま損益計算書で申し上げました当年度未処分利益剰余金の処分でございますが、減債積立金に500万円を積み立て、翌年度繰越利益剰余金を1,403万4,461円といたすものでございます。

次に、水道10ページをお願いいたします。貸借対照表により財産状況についてご説明申し上げます。

初めに、資産の部でございますが、固定資産合計74億2,905万3,528円で、前年度対比1億7,858万9,890円、2.5%の増となっております。内訳でございますが、建物は減価償却費分568万8,639円の減、構築物は5,612万3,733円の減、機械及び装置は平山浄水場中央監視制御装置の導入などにより304万5,415円の増、長井ダム関連及び清水町浄配水場更新事業の建設仮勘定は2億3,834万8,628円の増であります。なお、固定資産の明細につきましては水道50ページに記載しておりますので、ご参照いただきたいと存じます。

次に、流動資産は合計9億7,625万4,971円で、前年度対比477万2,007円、0.5%の減となっております。内訳としまして、現金及び預金の218万7,350円、営業未収金266万1,007円などが減額となり、また、営業外未収金が16万200円ふえたことによるものです。なお、営業未収金のうち水道料金につきましては、約2,441万4,000円でございます。

固定資産合計に流動資産合計を加えた資産合計は84億530万8,499円でございます。

次に、負債の部の流動負債でございますが、合計は1億3,518万1,430円で、前年度対比8,067万2,482円増となっております。内訳で、営業未払金の主なものでございますが、施設運転業務委託料約320万円、電算業務委託料約108万円、動力費用の約60万円などであります。その他の未払金約1億388万円につきましては、清水町浄配水場更新事業の平成19年度出来高支

払い分及び管理委託料支払い分であります。なお、流動資産と流動負債の対比である支払い能力を示す流動比率は722.2%であります。

次に、資本の部、資本金でございますが、自己資本金は、減債積立金取り崩し分1億2,900万円及び一般会計からの長井ダムへの出資金1,861万7,000円で、ふえております。借入資本金は、建設改良に要する企業債で512万9,860円の減で、資本金合計は58億2,144万8,910円、前年度対比1億4,248万7,140円、2.5%の増となっております。企業債につきましては、水道33ページに概況を、水道51ページから59ページに明細を記載してありますので、ご参照いただきたいと存じます。

次に、水道12ページをお開き願います。剰余金でございますが、資本剰余金合計22億4,864万3,698円で、前年度より6,591万9,203円、3%の増となりました。主な内容でございますが、水道水源開発事業や石綿セメント管更新事業に伴う国庫補助金が4,911万9,818円の増、工事負担金が157万5,685円の増などによるものです。その他の資本剰余金が前年度対比1,378万1,000円ふえております。これは公共下水道事業に伴う配水管布設替工事補償費によるものです。

次に、利益剰余金でございますが、合計2億3万4,461円で、前年度対比1億1,526万942円、36.6%減となりました。内訳といたしまして、減債積立金1億1,900万円の減、建設改良費積立金が1,000万円の増、当年度未処分利益剰余金が626万942円減でございます。

資本金に剰余金を加えた資本合計は82億7,012万7,069円で、流動負債を加えた負債資本合計は84億530万8,499円で、前年度対比1億7,381万7,883円、2.1%の増となっております。

先ほどご説明申し上げた資産合計とただいまの負債資本合計額は84億530万8,499円で一致しております。

なお、経営分析、財務分析などにつきましては、水道37ページから40ページに記載してございますので、ご参照いただきたいと思います。

次に、水道41ページをお開き願います。収益費用明細書についてご説明申し上げます。

初めに、収益でございますが、1款水道事業収益の総額は6億4,629万3,131円、前年度対比2,120万1,247円、3.2%の減でございます。

1款1項営業収益につきましては6億4,236万9,381円で、前年度対比2,396万2,911円、3.6%の減となりました。

内訳でございますが、営業収益の96.2%を占めます1項1目給水収益は6億1,774万3,916円で、前年度より1,953万37円、3.1%の減収となりました。要因といたしまして、給水人口の減少や暖冬による給水量の減少、節水意識の高揚や節水機器の普及などによるものと考えております。なお、給水状況につきましては水道28ページから30ページに記載してございますので、ご参照いただきたいと思います。

2目加入金につきましては、前年度より365万5,000円減の464万5,000円でありました。新設件数につきましては60件、口径変更につきましては45件の加入申し込みがありました。

3目受託工事収益につきましては、消火栓破損によります受託工事の42万7,000円であります。4目その他の営業収益につきましては、前年度より88万7,750円減の1,259万1,965円で、再開栓及び給水装置検査などの手数料や消火栓移設及び修繕負担金などの一般会計から負担いただくもの、そのほか下水道使用料収納業務受託料及び農業集落排水使用料検針電算業務受託料などの受託金でございます。

5目他会計繰入金につきましては、前年度より191万3,100円増の696万1,500円で、公共下水道工事に伴う給水管布設替工事費及び豊里地区圃場整備事業に伴う給水管布設替工事費でございます。

次に、2項営業外収益でございますが、受取利息、雑収益、県補助金合わせまして392万3,750円であります。

3項特別利益はありませんでした。

水道43ページをお願いいたします。収益に対する費用でございますが、1款水道事業費用の総額は6億3,255万4,073円で、前年度対比1,771万1,372円、2.7%の減となりました。

1項営業費用につきましては4億8,619万5,429円、前年度対比1,646万5,669円、3.3%の減となりました。

内訳につきましては、1項1目浄水及び配給水費は1億4,314万2,717円で、前年度対比2,162万8,001円、13.1%の減となりました。内容でございますが、5名分の職員給与費のほか、各施設の運転業務などの委託料、配水施設などの修繕費、下水道工事に伴う給水管布設替工事費、各浄水場中継場などの動力費用でございます。減の要因としまして、修繕費で約1,322万円、委託料で968万円などの減によるものでございます。

2目受託工事費は42万2,435円で、受託工事収益と相賄う費用でございます。

3目業務及び総係費は7,012万1,282円で、前年度に比べまして102万8,589円減となりました。内容につきましては、事業経営に関する費用でございます。5名分の職員給与費のほかに、電算業務委託料、会計システム機器の賃借料などが主なものでございます。前年度対比、賃借料で公営企業会計システム44万円、OCR及び端末機器44万7,000円など減額しております。

水道46ページをお開き願います。4目減価償却費は2億5,627万1,558円で、営業費用の52.7%を占め、前年度より709万2,717円、2.8%の増となりました。これは、第4次拡張事業や配水施設整備事業など、固定資産償却費の増によるものです。

5目資産減耗費は1,623万7,437円で、前年度

+

より80万1,834円の増となりました。これは、石綿セメント管更新や量水器交換などによる固定資産除却費が増加したことによるものでございます。

2項営業外費用につきましては、企業債の支払利息及び雑支出合わせて1億4,379万8,947円でございます。前年度対比94万8,813円減であります。

3項特別損失は、冬期水道料金精算還付金、不納欠損処分金など255万9,697円でございます。なお、不納欠損処分につきましては、平成13年度分及び14年度分、61件で、転出後行方不明、会社倒産及び自己破産などにより回収不可能と判断し、処分させていただいたものでございます。

それでは、水道47ページをお願いいたします。資本的収支明細書についてご説明申し上げます。

初めに、収入でございますが、第1款資本的収入の総額は4億2,214万50円で、前年度対比3,520万6,074円、9.1%の増となりました。

内訳につきましては、1款1項企業債は備考欄の各事業に充てられたもので、3億3,430万円で、前年度と比べ5,470万円の増でございます。

2項分担金及び負担金は、消火栓設置工事に伴う一般会計負担金で182万7,000円、前年度より4万8,300円の増であります。

3項国庫補助金は、長井ダム建設負担金の補助金、石綿セメント管更新事業補助金で5,292万6,000円、前年度より1,045万7,000円の減であります。

4項その他の補償金は、公共下水道事業に伴う配水管布設替補償費で、前年度より1,036万9,800円の減となっております。

5項出資金は1,861万7,000円で、前年度対比136万1,000円の増であります。長井ダム工事負担金として一般会計から繰り入れしていただいたものでございます。

次に、水道48ページをお願いいたします。支出でございますが、第1款資本的支出7億9,053万6,257円で、前年度より1億7,992万2,208円、29.5%の増でございます。

内訳でございますが、1項1目事務費は、建設にかかわる職員1名分の給与費などでございます。

2目第4次拡張事業費につきましては、前年度より4,761万506円増の3億5,844万2,062円でございます。内容としまして、配水施設整備工事の平山浄水場中央監視制御装置改造工事、清水町浄配水場更新事業土木・建築・機械設備工事及び電気設備工事の3件、また、老朽管更新事業としまして石綿セメント管更新事業を8件実施したところであります。なお、石綿セメント管更新事業につきましては、平成19年度末で計画更新総延長28.2キロメートルのうち20.88キロメートルが完了し、進捗率で74%に達しております。

3目水源開発費につきましては、長井ダム使用权に係る建設費負担金及び企業債利息で5,543万2,610円、前年度より401万6,214円ふえております。

次に、水道49ページをお願いいたします。4目配水施設整備費は、単独事業2,448万469円で、前年度より1,868万7,804円減であります。配水施設整備工事では、市道大沢線道路改良工事に伴う配給水管布設替工事などを3件、公共下水道事業に伴う補償工事では2件、その他の補償工事では1件、消火栓設置工事で3件を実施したものでございます。

5目資産購入費は273万1,940円で、量水器の購入や第2水源地水位計交換などであります。

2項1目企業債償還金でございますが、3億3,942万9,860円で、前年度より1億4,732万7,266円増となっております。これは、公的資金補償金免除繰上償還約1億2,900万円実施による大幅な増となっております。

ただいま説明申し上げました建設改良や資産購入費などの明細につきましては、水道18ページより24ページに記載しておりますので、ご参照いただきたいと思います。

以上、平成19年度長井市水道事業会計決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

平成19年度長井市各会計決算に関する総括質疑

○高橋孝夫委員長 以上で概要の説明が終わりました。

これより質疑を行います。

ここで、総括質疑の発言通告がありますので、ご指名をいたします。

蒲生光男委員の総括質疑

○高橋孝夫委員長 議席番号6番、蒲生光男委員。

○6番 蒲生光男委員 私の通告している質問事項は2点です。特に決算議会でございますので、16年から毎年お聞きしておりますが、収入未済額及び不納欠損対策等について、税務行政、特に収納業務に関してはエキスパートと自負しておられます税務課長のご答弁を主にお願いしたいと考えております。市長からは、やっぱり一番肝心の総括的のところ、そういった点でお願いをしてまいりたい。2点目の人口交流増対策については、特に商工観光課長の所管する農産物を媒体にしたような、そういったところについて、その交流成果という点について、あるいはまた今後の考え方等について、特に(1)に記載してございます都市、地方連携の温暖化

対策というような、新しく何か事業メニューが出ておるようですから、そういった取り組みについてもお聞かせいただきたいと思います。

まず、委員長の許可をいただきまして、また同じようなものなんですけど、1ページは一般市税現年度分、それから滞納繰越分を含む上位市、それから下位市、そして長井市、この5市の推移をグラフにしたものでございます。現年分につきましては、一番上の数字が記載してある、パーセンテージの記載してあるのが村山市でございます。真ん中のばってんのついてる98.08というのが長井市でございます。一番下が新庄市というようなことでございます。図2の滞納繰越分を含むというのにつきましても、村山、長井に数字入っていますが、新庄市は入っておりませんけれども、新庄の数字については下表の表を見ていただきますとおわかりのとおりでございます。

今回、特に一般市税の収納率が、16年の決算議会で私が、この対策本部等のような収納業務の対策が必要じゃないかというご提案を申し上げまして、17年の2月に収納率向上対策本部を立ち上げていただきました。以来、同じような質問を繰り返しているわけですが、ここに記載のとおり、若干ずつでありますけれども、収納率が向上しているということは、極めていい傾向だなというふうに思っております。

しかしながら、依然として村山市と長井市を比較した場合、まだまだ、94.89と92.46ですから、2ポイント以上の開きがございます。例えば村山市並みの収納率であったと仮定した場合に、長井市は財源としてどのぐらいふえることになるのか。これはこの図表の説明が終わった後に税務課長にお答えいただきたいと思います。

2番目の2ページ目の方は、国保税の関係を同じように現年分、滞納分を含めた数値化したものでございます。これについても村山、長

+